

ファンがつくる 金沢競馬をもっと楽しむ情報誌

遊駿^{plus}

協力: 金沢ホースマンクラブ
協賛: 金沢競馬振興協議会
発行者: 遊駿プラス編集部

無料

ご自由にお持ちください

www.kanazawakeiba.com

九月三十日(火)

第四十五回 白山大賞典 (JpnIII)

出張ウマフリ

追悼。「メイショウ」と金沢

ウマフリ代表 緒方きしん

2025年9月

vol. 58

※ご意見、ご感想をお寄せください
宛先 E-Mail: yushun.plus@gmail.com
<http://sites.google.com/site/yushunplus/>

全国からの被災地支援ありがとうございます

白山大賞典

出走予定馬紹介

▼メイショウフンジン (牡七歳)

出走すれば三年連続の金沢。最初は重賞制覇まで半馬身足りずに泣き、それから好走すれども重賞は勝てず、昨年の当レースは四着。

しかし今年は、佐賀記念を制して念願の重賞制覇、重賞馬として金沢に戻ってくる。重賞制覇後は精彩に欠く走りを見せているが、ここで変わるかが注目点。



メイショウフンジン

▼カスタンジャー (牡四歳)

今年の盛岡マーキュリーカップ勝ち馬。昨年までは惜しいレースを繰り返してきたが今年に入ってから複勝圏内を外さず、二勝クラスから重賞制覇まで駆け上がった。

ここ四戦は上がり最速を記録していて、末脚は確実。追込が決まりにくい金沢ではあるが、そこは白山大賞典三勝の川田将雅騎手がエスコートするか。

▼ディープリボン (牡五歳)

同距離二〇〇mのブリリアントS(リステッド)勝ち馬。前走盛岡マーキュリーCをカスタンジャーから〇・六秒差離されるも三着で徐々に力をつけている。

全五勝のうち四勝が左回り(東京・中京)なのが少々気がかりだが、直近のダートグレードの実績でカバーできるか。

▼ジャスパールロブスト (騾四歳)

今年のBSN賞(リステッド)優勝馬。デビューしてからまだ十戦しか消化していないが、連対を外したのが一度だけという超堅実な走りを見せている。

武器は軽快な逃げ。その脚は金沢に合いそうだが、唯一連対を外した時のように逃げられなかった時の脆さが気かり。

▼ピュアキアン (牡四歳)

シリウスSとの両睨みだが、白山大賞典への臨戦過程で実績があるマリオンS優勝馬。

これまで重賞に三度挑むもすべて掲示板外と壁に跳ね返され気味。しぶとい逃げが持ち味でディープリ

ボンが買ったブリリアントSを僅差三着で逃げ粘って距離は大丈夫そう。初重賞、馬券圏内もありえるか。

▼補欠馬

タイトニット (牡五歳)

テーパーパスワード (牡四歳)

ジンセイ (牡四歳)

ルクスフロンティア (牡五歳)

エナハツホ (牝六歳)

白山大賞典

出走予定馬紹介

地方他馬場篇

▼アンタンスルフレ (愛知騾七歳)

パツとしない近況だが、現在北國王冠連覇中と金沢との相性は折り紙付き。昨年の白山大賞典では地方最着の六着だが今年は。

▼サクラトップキッド(岩手牡四歳)

地元重賞二勝で今年のマーキュリーカップを地方最着の四着。掲示板を外さない堅実な走りをここでも見せられるか。

▼シンメデージ (高知牡四歳)

高知の雄がついに白山大賞典に登場。金沢は西日本三歳優駿で経験済み。ダートグレードに挑み大崩れは帝王賞だけ。自身念願のダートグレード制覇と当レース史上初の地方馬の優勝を狙う。

白山大賞典

出走予定馬紹介

地元馬篇

▼ウエザーコック (牡五歳)

百万石賞三着を含めて近走は善戦が続く。しかし、勝ちきれない現状でどこまで頑張るか。

▼ビバロジータ (牝三歳)

今年の石川優駿馬が登場。強敵相手だが胸を借りるつもりで。その斤



長く過酷な夏の暑さや、浸水被害をもたらした大雨など、気候変動が原因と思われる異常気象に見舞われた今年の金沢競馬。

今はもちろん浸水被害への対策が急務ではあるのだが、一方で近年の気候変動を利用する手もあるのではないだろうか。

金沢競馬は毎年十二月の下旬で冬休みに入る。以前は年明けも開催を行っていたが降雪で開催が中止になる年もあり、近年は年内での終了が定着している。

しかし、ここ数年は温暖化の影響なのか雪のない年末年始が常態化している金沢。年明け開催を復活してみるのはないだろうか。

ファンからすれば年始は休みと言う人が多い。来場するにも馬券を買

量差を生かし、来年以降に繋がる走りを見せてほしい。

▼マイネルシスネロス (牡八歳)

多くの勝ちを挙げた前目を行く脚も影を潜め、掲示板内に入ることも難しい現状。健闘を祈る。

▼メルテミア (牡七歳)

金沢A2クラスでも勝てない状況でこのメンバーが相手では。思い切った走りを見せてほしい。

うにも仕事を休まずとも良く、都合がいい時期である。

あるいは、三月中頃の冬休み明け開催を上旬に前倒しして、年明け開催と合わせて冬休みを例年下力雪が発生する一月下旬から二月一杯までの一か月半程度に短縮する。馬を使う側にとっても冬休み期間が短く、走るための遠征をする必要も減り、在厩での調整もしやすくなるのではないだろうか。

法的に難しいのかもしれないが、例えば今年大雨で中止になった市営分を災害復興のためとこれに充当する形で開催を行なう事ができないか。重賞のない平場戦だけでもいい。売上を上げて浸水対策の一助にもなる。

気候変動による異常気象の災害から異常気象を利用して復興させる。そんなしたたかさも異常気象の時代には必要なのかもしれない。



浸水被害

一か月中止からの復活

八月七日の記録的な大雨によって厩舎、スタンド、馬場の一部が浸水。金沢競馬は開催を一か月中止せざるを得ない状況に陥った。馬の調教どころか滞在すらままならず、避難を余儀なくされる馬も現れた。

厩舎スタッフや関係者の懸命の復旧作業で半月後には調教を再開し、ちようど一か月経った九月七日に開催が再開された。

再開当日は再開した金沢競馬を応援しようという競馬ファンが大勢詰め掛け、また開催中止で行えなかったイベントも行われ、家族連れも多数来場。開門前には正門から屋根伝いに駐車場近くまで行列が伸びて大盛況となった。



準重賞優勝 アンダーレ

レースでも急遽準重賞「頑張ろう！ 金沢競馬 大雨浸水からの復活記念」が組まれ、メインのサラブレッド大賞典を含めて再開初日を大いに盛り上げた。

昨年は能登半島地震、今年は大雨と立て続けに天災に見舞われた石川県。災害の被害は競馬場だけではなく石川県内のいたる所で生じている。

今回の水害の象徴的な存在となった金沢競馬が盛り上がることで県全体を盛り上げ、売り上げも上げて復興の一助になることを願っている。

五たび登場！

ウマ娘コラボ開催

十月十一日と十二日の両日、五度目となるウマ娘とのコラボイベントが開催される。

今回金沢に登場するのはシュヴァルグランとヴィルシーナの「姉妹」で十二日にはシュヴァルグラン役の夏吉ゆうこさんと奥野香耶さんのトークショーも行われる。

そして、このトークショーの進行を耳目社の鈴木努アナが務める事も発表されて一部のファンから喜びの声が上がった。

鈴木アナは金沢でのトークショーの進行を度々務め、その度に集まったトレーナーさんや出演する声優さん達を盛り上げ、トークショーをより楽しい物にする。鈴木アナの名進

行にも注目だ。同じ日には来場者特典としてアクリルキーホルダーのプレゼントもあり、行列は必至か。



鈴木アナ

コラボの二日間は両日とも本場開催日で十一日は新設の金沢鼓門賞、十二日は金沢シンデレラカップといずれも重賞競走が組まれており、コラボ共々金沢競馬を楽しめるようになっていく。

なお、グッズ購入は言うに及ばずだが、やはり馬券の購入が一番の金沢競馬への応援になる。来場されるトレーナーさん達にはコラボも競馬も共に楽しんでほしい。

復活最初の重賞、

サラ大賞典

浸水での中止からの再開初日に重賞サラブレッド大賞典が行われた。

断然の一番人気は前走百万石ががやきナイター賞で七馬身差圧勝を果たしたリトルサムシング。以下デビュー戦以外で掲示板を外したことのない牝馬ゴールドパス、さらに石川優駿馬の牝馬ビバロジータが人

気で続いた。

レースはリトルサムシングがハナを切り、クインズパフェとキタノダイヤが追走。そこにタルバンが追いかけて向こう正面に入る時にはこの四頭の馬群と五番手ショウガマツタナシ以下の馬群が開き、かなり縦長の展開となる。

先頭を行くリトルサムシングはマイペースで逃げ続け、クインズパフェが早々と脱落、キタノダイヤが食い下がり、タルバンがキタノダイヤとの差を詰めるがリトルサムシングはどこ吹く風。最後の直線に入ると完全に独走。最後は鞭も入れずに後続に六馬身つけてゴール。重賞連勝を決めた。二着に直線で追い上げたゴールドパス、二番手に上がった最後力尽きたタルバンが入った。

鞍上は愛知の丸野勝虎騎手。なお、二着ゴールドパスは笠松の渡邊竜也騎手で東海勢のワンツードット。



リトルサムシング

日本海のリベンジは百万石で 百万石スプリント

九月一四日、今年新たに誕生した短距離重賞「百万石スプリント」が行われた。

圧倒的の一番人気は中央から転厩二戦目で重賞日本海スプリントを好時計で制したプレシオソ。その日本海スプリントで四着に敗れたハクサンパイオニアが二番人気、三番人気に読売レディスカップで地元最先着の五着に入ったコパノフランシスが続いた。

ゲートが開くとハクサンパイオニアがハナを切る。プレシオソが続いてコパノフランシスは馬群の真ん中あたりから追走。プレシオソが前に迫ってプレッシャーを与えるがハクサンパイオニアはマイペースで逃げる。直線に入っても逃げ足は衰えず、プレシオソとの差は広がり、五馬身差をつけてゴール。念願の初重賞を制した。二着はプレシオソ、三着にジェイケイファイアの猛追をハナ差で凌いだコパノフランシスがに入った。

これまで重賞ではオヌシナニモノの壁に弾き返されてきたハクサンパイオニアだが、今年はオヌシナニモノに先着するようになり実力をつけてきている。プレシオソには重賞でリベンジを果たした。次はオヌシナニモノに大舞台でリベンジを果たしに行く。



特別寄稿

追悼。「メイショウ」と金沢

ウマフリ代表 緒方きしん

今年の八月二三日に、「メイショウ」の冠で有名な松本好雄オーナーが亡くなった。騎手や調教師だけでなく生産牧場の方々からも多くの悲しみの声があがり、本当に多くの方々から慕われていたのだと改めて感じさせられた。ウマフリでも、追悼企画としてメイショウの名馬たちの紹介記事を掲載した。

数々の名馬・活躍馬を所有していた松本オーナーであり、地方移籍の際に他オーナーが所有することになっても、各地で「メイショウ」の名前は見かける。日本競馬界を支えた功労者である証のように、今も各地で「メイショウ」馬が走るのだ。

では皆さんは、金沢で「メイショウ」の馬といえば、どの馬を思い浮かべるだろうか。ご自身が兵庫県在住ということもあり地方だと園田を走らせることが多く、八月に松本オーナー所有の馬は金沢競馬に出走していない。七月には中央から石橋守調教師・松本オーナーの「サムソ

ン」タッグでメイショウアイクという馬が遠征してきていた。しかし二〇二五年九月現在、金沢で実施されている地方重賞の過去勝ち馬に「メイショウ」の名前は見たらない。

だが、記憶に新しい「メイショウ」がいる。二〇一二年白山大賞典の勝ち馬、メイショウカズサである。

メイショウカズサは母が未出走馬・祖母は未勝利馬ではあるが、五代母にはマルゼンスキーを産んだ名

繁殖シルのいる由緒正しき血統馬。姪には二〇二三年ジャパンCに挑戦した地方牝馬クリノメガミエースもいる活力ある牝系に属している。このメイショウカズサは二〇一九年デビューで、デビュー九戦目で勝ち上がったやや遅咲きタイプ。

しかし初勝利から四連勝でオープンクラスに駆け上がると、オープンクラス四戦目で早くもプロキオンSを制した。阿蘇Sで六着に敗れたものの、その次走で白山大賞典に遠征してきた。しかし当日は五番人気。

何故ならば、その年の白山大賞典は翌々月に控えたJBC金沢の前哨戦として、各地から有力馬が揃っていたからである。前年覇者マスターフェンサー、マリーンS・エルムSと連勝中のスウィアラミス、そして吉原寛人騎手と船橋のミューチャリーがいた。

二〇二一年の白山大賞典は不良馬場のなか開催され、拔群の好タイムでメイショウカズサが逃げ切る形で決着する。決着の二分一〇秒三は今も残る金沢二一〇〇mのレコードタイム。二着ミューチャリーには三馬

身もの差をつけていた。

ご存知の通り、ミューチャリーは次走の金沢のJBCクラシックで勝利。あくまで試走と言えた不良馬場の白山大賞典は、ミューチャリーの偉業の通り道のようにすら感じられるかもしれない。しかし中距離ダービーのトップとなる馬に力強い競馬で逃げ切った馬がいたことも、忘れてはならない。

メイショウカズサは今、障害競走で上を目指している。ミューチャリーをはじめとした多くのライバルたちが引退する中、どこまでやれるか。八歳馬の活躍を見守りたい。

さて、私が個人的に印象深い「メイショウ」といえばメイショウバトラを思い浮かべる。一〇歳まで一線級で現役を続けた破格の名牝で、地方も南関四場や園田はもちろん水沢・盛岡・名古屋・高知・佐賀と各地を駆け巡った。しかし、このメイショウバトラ、金沢は未訪であった。同時期に活躍していたメイショウボラーも金沢は未出走。しかしこの二頭の間に生まれた牝馬メイショウタラチネの、さらにそのまた娘であるメイショウゴルシは、現在金沢で活躍を続けている。

金沢で既に六勝をあげている同馬の、今後の活躍にも期待したい。

競馬ブログ&WEBフリーペーパー

▼ウマフリとは？

『競馬の楽しさを、全ての人へ』をモットーに多彩な執筆陣が様々なブログを上げているインターネット上のフリーペーパーです。掲載されているブログには中央や地方、海外の競馬情報はもちろん、競馬場グルメ、馬やそれに関わる人々にまつわる話題のほか、アートなどの馬事文化、イベントレポートなどなど。おおよそ馬に関わる事なら何でもアリの、さまざまな内容が揃っています。

公式ツイッターでは最新の話題はもちろん、サイトに上げるまでも無い些細な話題から、時には日本酒情報が馬の記事以上(?)に充実する事もあります。競馬初心者もベテランも読みごたえのある記事が揃うウマフリ。一度「ウマフリ」で検索して覗いてみてはいかがでしょう。もしかししたら覗いたが最後、夢になつて時間を大量に奪われる事になるかもしれませんけどね!?

■ウマフリ公式サイト

<https://www.uma-furi.com/>

■ウマフリ公式X(旧ツイッター)

@Uma_Free



メイショウカズサ